



学校だより

<http://www.sumida.ed.jp/ryogokusho/>

令和8年4月6日

墨田区立両国小学校

墨田区両国4-26-6

TEL 3634-7876



令和8年度もよろしくお願いたします

校長 山崎 隆

「春のうららの隅田川 のぼりくだりの船人が 櫂のしずくも花と散る 眺めを何にたとうべき」と歌われる春が来ました。令和8年度新学期の始まりです。新1年生 84名が入学し、全校児童512名でのスタートとなりました。

「春の隅田川」「船人」「櫂のしずく」と聞くと、20年前に墨田区教育委員会で指導主事として勤務していた際に当時担当していたボート教育の一環として観戦した「早慶レガッタ」を思い出します。早稲田・慶応両校の選手が力強く、そして息を合わせて櫂（オール）を漕ぐ姿や、滑るように隅田川の水面を進むボート、熱気ある応援、どれも鮮明に記憶しています。当時行われていた墨田区のボート教育は、中学校の部活動を中心として、横十間川で練習をしたり埼玉県戸田市にある漕艇場で行われる大会に参加したりして生徒が腕を磨いていました。時々私も中学生に混じってオールを握らせてもらいましたが、なかなか思うようにボートが進まず苦労しました。左右のオールをバランスよく動かすことが難しく、なかなか前に進みません。その場でぐるぐる回ってしまうのです。1人でもボートを動かすのが大変なのに、競技となると2人、4人、8人などチームとしてボートを漕ぐことになるのですから、ボートが真っ直ぐ前へ進むということは本当にすごいことなのです。

ここで、学校教育に目を向けてみましょう。令和7年12月に墨田区教育委員会が決定した「令和8年度における主要な教育課題」では、子供一人一人の学ぶ意欲や学力定着の状況等を踏まえて学習を進める「個別最適な学び」と、それを活かして子供同士が協働して探究等を通じて学びを広げたり深めたりする「協働的な学び」を一体的に進めていくことが示されています。これをボート競技に置き換えてみると、一人一人がオール操作の技術を高め、その力を合わせてチームとしてボートの推進力を生み出すことによく似ています。また、子供たちだけでなく我々教師集団においても、一人一人の専門性や指導力を高め、身に付けた力や高めた力を結集して両国小学校の教育を推進することに通じるところがあります。

東京都教育委員会は「教科指導の専門性を持った教師によるきめ細かな指導の充実」を「小学校高学年からの教科担任制」を通じて行っており、本校でも、5・6年生の教科担任制が令和7年度から始まっています。教科担任制は中学校の教え方をイメージするとわかりやすいと思いますが、5・6年各3人の担任がそれぞれ国語・社会・体育を担当して全学級で授業を行います。理科については理科の専科教員が授業を担当しています。音楽・図工・家庭科も専科教員が指導し、算数は担任と少人数担当教員が、習熟度に応じたグループをそれぞれ担当し、外国語は講師とNTが授業を行っています。令和8年度も、小学校高学年から中学校への円滑な接続も見通しながら、教員の専門性向上による質の高い授業を展開していきます。また、学年や専科のチームで、より多面的・多角的な児童理解の促進も図っていきます。

令和8年度も、以上の取組を中心に教育目標の「進んで学ぶ子ども」の実現を図っていきますが、「たくましい子ども」「心の温かい子ども」についても日々の教育を充実させ、「教育目標が児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校」を柱として3つの教育目標を具現化する教育を推進してまいります。ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。